

事業者向け児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価結果公表用

公表日：2023年 3月 1日

職員数 6名 回収数 6名 100%

事業所名：リハビリ発達支援ルーム UTキッズ香芝

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	職員の評価			職員の評価を踏まえた改善目標・工夫している点など	
業務改善	1	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	・ケース会議を実施して、振り返りと評価を行い利用児に必要なことを検討し遂行しています。 ・療育だけでなく、環境づくりについても随時話し合いを実施し共有しています。	はい 6人	どちらとも いえない 人	いいえ 人	→引き続き職員同士での話し合い・会議の機会を設け、改善に向けて検討を実施していきます。
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	・半年に1回保護者との面談を行い、その都度事業所内で共有・把握を行っています。 ・先日実施した保護者満足度アンケートでも高評価をいただいています。そのアンケートを確認し、話し合いを行っています。 ・アンケート結果をまとめ会社内の研修にて管理者が発表しました。面談・ケース会議の実施による成果・課題を把握することができています。	はい 6人	どちらとも いえない 人	いいえ 人	→アンケート結果より改善点を分析・把握できたので、改善策を検討し、実施していきます。
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	毎年ホームページに掲載、公開しています。	はい 6人	どちらとも いえない 人	いいえ 人	
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在、第三者による外部評価は行っていません。	はい 人	どちらとも いえない 人	いいえ 6人	
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	年間通して研修・会議に参加しています。事業所内での勉強会を開催し、療育に関してスタッフで話し合う機会を作っています。身体拘束・虐待・請求等に関する研修会を実施しており、理解を深める手引きとなっています。	はい 6人	どちらとも いえない 人	いいえ 人	→引き続き研修会・勉強会を実施していき、職員の資質の向上に努めていきます。
	6	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援・放課後等デイサービス計画を作成しているか	面談前にアンケートに回答していただき、面談にて定期的に保護者のニーズや利用児の生活・集団場面を聞き取り、療育の様子と照らし合わせながら、ケース会議を行っています。一人の視点だけでなく、スタッフそれぞれの意見を出し合い、多角的な視点でアセスメントを実施し、計画書の作成をしています。	はい 6人	どちらとも いえない 人	いいえ 人	→引き続きそれぞれの意見を出し合いながらニーズに沿った計画書の作成ができるように努めていきます。

適切な支援の提供	7	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	契約時に感覚チェックリストを記入していただいています。また、必要な利用児には個別でJPANを実施し、評価を行なっています。	はい 6人	どちらとも いない 人	いいえ 人	→引き続き必要に応じて評価を実施していきます。また、簡易的に多くの利用児の前後評価が行いやすい評価方法も新たに検討し、実施に向けて準備していきます。
	8	活動プログラムの立案をチームで行っているか	ケース会議にて立案を行っています。また、個別・集団療育ともに関わっているスタッフで情報を共有して立案・遂行しています。集団療育の場合、リーダースタッフがおよその年間計画と次回のプログラムを立てた後に、サブスタッフと話し合っ内容を決めています。	はい 6人	どちらとも いない 人	いいえ 人	→集団療育の担当スタッフとその他のスタッフで、情報共有・共通認識を深める機会をつくっていきます。
	9	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	必要に応じてスタッフ間で話し合い、ホームプログラムなどの立案と提案しています。	はい 6人	どちらとも いない 人	いいえ 人	→他店舗で実施しているホームプログラムのアイデアや資料を活用し、さらに多くの利用児へご提案できるようにしていきます。
	10	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援・放課後等デイサービス計画を作成しているか	状況や生活課題に応じて、療育プログラムを選択・組み合わせ作成しています。子どもに合わせて個別活動と集団活動を行い、計画に沿って支援を進めています。	はい 6人	どちらとも いない 人	いいえ 人	→引き続きお子さんの発達状況やニーズに合わせて、個別での活動と集団での活動を使い分けて実施していきます。
	11	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	集団は事前に時間をとって活動内容を共有しています。また、個別もできる限り担当のスタッフ同士で個々に確認をしています。	はい 6人	どちらとも いない 人	いいえ 人	→引き続き打ち合わせと確認を行っていきます。
	12	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	気付いた点やすぐに共有が必要と思われるものについては職員間ですぐに報告するようにしています。また、日々記録でも共有できるように記入しています。集団療育は活動後に必ずスタッフ間で振り返りを実施しています。	はい 6人	どちらとも いない 人	いいえ 人	→伝達事項は記録に残すように心がけ、早急に共有が必要な事項に関しては直接報告し、共有に漏れがないように努めて行きます。
	13	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	正しい記録と記入漏れのチェックを行うとともに、支援の検証・改善にも活用しています。記録に残すべき部分を選び取る技術の向上を目指しています。	はい 6人	どちらとも いない 人	いいえ 人	→記録に必要な情報を自身の中で整理して、まとめて素早く記載できるよう努めていきます。また、業務内容に優先順位をつけて要領良く行えるように努めて行きます。

関係機関や保護者との連携	14	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	ガイドラインの内容の確認・理解が不十分な部分もあり、スタッフ間での共有認識を必要と感じています。	はい 2人	どちらとも いえない 4人	いいえ 人	→スタッフ間でガイドラインの内容を確認しました。今後はガイドラインに記載されている事をさらに意識し、活動を組み合わせた支援を実施していきます。
	15	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	サービス担当者会議が開かれることは少ないですが、相談支援員から利用児に対する問い合わせや相談があった場合には、最も詳しい職員が対応するようにしています。	はい 6人	どちらとも いえない 人	いいえ 人	→担当者会議が必要なケースがあった場合には、発起人として担当者に連絡を取るなど、積極的な連携を図れるようにしていきます。
	16	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	必要な情報があれば学校教員と連絡をとり共有を行い、保護者や相談支援員とも情報を共有しています。	はい 2人	どちらとも いえない 4人	いいえ 人	→学校の先生との情報共有は、必要に応じて実施していきます。(相談支援員経由でもあり)
	17	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在、医療的ケアが必要な方は利用されていません。	はい 人	どちらとも いえない 人	いいえ 6人	
	18	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	情報共有が必要な場合は、各機関・関係者との連絡を取るようにしています。	はい 人	どちらとも いえない 6人	いいえ 人	→今後も必要に応じて連携を図っていきます。
	19	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	現在障害福祉サービス事業所へ移行する利用児がいないため、実施していません。	はい 人	どちらとも いえない 人	いいえ 6人	→今後移行される利用児の為、情報を提供できるよう準備に努めていきます。
	20	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	左記の専門機関との連携、助言、研修は受けていません。	はい 人	どちらとも いえない 人	いいえ 6人	→センターでの研修会の開催等について把握できていなかったため、今後は情報収集を行い、必要に応じて受けられるようにしていきます。
	21	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	現在、地域自立支援協議会等へ参加はできていません。	はい 人	どちらとも いえない 人	いいえ 6人	→今後参加して行きたいと考えています。

満足度	22	子どもたちや保護者の方に寄り添い支援することを楽しめているか	療育の中で子どもたちと楽しさや成長を共感したり、保護者との振り返りや面談の中で成長や状況を伝え合っています。 子ども、保護者の思いに寄り添って、スタッフもやりがいをもって支援に努めています。 家庭での情報を教えていただき、子どもや保護者の現在の状況を把握するように努めています。 共感や受け止める姿勢で接するようにしています。	はい 6人	どちらとも いえない 人	いいえ 人	→引き続き利用児の思いに寄り添いながら、スタッフも子どもたちと楽しんで支援に努めていきたいと思えます。
	23	事業所の支援に満足しているか	常に改善するための細かい話し合いをして、共有し合っており、物理的にも精神的にも可能な限りの支援をし、一定の満足感があります。しかし今後を見据えると固定概念に捉われない先進的な支援を提供したいと考えています。	はい 6人	どちらとも いえない 人	いいえ 人	→現状に満足せずに、向上心を常に持ち続け、高い行動力をスタッフ一人一人がもち、今後もニーズに応え続けられる支援を実施していきます。

児童発達支援事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2023年 3月 1日

保護者等数 38名 回収数 21名 55%

事業所名: リハビリ発達支援ルーム UTキッズ香芝

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	活動内容によって2人の子どもの動線を考えた上で遊具の配置をしています。遊具や大型玩具を移動してスペースを確保できるようにし、快適に過ごせるように物品の整理も常に行なっています。	はい 19人	どちらとも いえ ない 2人	いいえ 0人	人数管理もしっかりしていて、のびのび活動させてもらっている。子供の様子が見れる小窓があれば先生が話してる遊具もそれを利用して子供の様子も見れて先生の話がもっとよく分かる気がする。 良い。 少し狭い気がします。 手洗い場が兎に角狭く、水栓も子供では開栓できない古い衛生設備の為、使いにくいです。 子どもが楽しんでできる工夫がある。 部屋の隅に使ってない運動器具が保護されてない状態で置かれているので、器具の角にぶつかりそうで危ないと思う時がある。 →遊具の置き方や置く位置の改善、療育室の遊具の選定・整理を行い、さらに快適な環境にできるよう努めていきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	専門性を高める為に、ケース会議や主訴に関する勉強会で知識を増やしたり、知識を整理しながら専門性の向上に努めています。 配置数は適切で、スタッフもそれぞれの職種の専門性を活かして業務についており、日々の業務や研修会を通して向上を目指しています。	はい 21人	どちらとも いえ ない 0人	いいえ 0人	悩みにもすぐ相談にのってもらえ、安心して頼らせてもらっている。 良い。 →引き続き専門性の向上に努めながら、相談にも随時お応えして安心してご利用頂けるように努めていきます。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	出入口に手摺を設置していますが、スロープではなく階段になっています。 また手洗い場・トイレへ行く場所にも階段があるため、サポートが必要な利用児にはその都度介助や動線の配慮を行っています。	はい 13人	どちらとも いえ ない 5人	いいえ 3人	入り口の階段が少しつらい。 入り口に段差があるが、入りやすいようになっている。もっと段差のないにはしたほうがいいのか？とも思うが… 車椅子や足の不自由な方がこられていないのであれば今のままでも良い。 入ってすぐ階段がある為バリアフリーとは言えない。 良い。 入口が少し狭い。 →靴の着脱スペースを広く確保できるように設備を整えていきたいと思います。
	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	スタッフでの会議時に療育の様子や保護者の聞取りを基にスタッフ間でも話しながらニーズや課題を客観的に分析し、計画書を作成しています。	はい 19人	どちらとも いえ ない 2人	いいえ 0人	保護者の意見をしっかりと聞いてもらえ、子供の特性などしっかりと分析した上で課題を出して頂き、プロにお任せして安心です。 専門の先生と家族で悩みや課題を共有しながら計画してもらえていると思う。 →引き続き利用児と保護者のニーズや課題が客観的に分析して計画の作成に繋げていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	5 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	定期的にスタッフ同士で話し合い・勉強会を開催し、新たな活動のアイデアを出し合っています。また、ケース会議を通して具体的な活動内容を複数あげ、利用児の様子に合わせて応用していきながら取り組んでいます。新しい活動内容を検討しています。	はい 20人	どちらとも いえない 1人	いいえ 0人	子供が飽きないように、毎回色々な遊びを取り入れながら、課題を克服できるように訓練して頂いています。静や動の動きを色々取り入れてもらっていたり、好きな活動の中にも工夫していろいろな動きが入るようにしてくれたりしている。 終了時間になっても中々外に出ることを拒否する子供に対して、待合室に出させる同線を考えてくださり(ぬいぐるみのかくれんぼ)スムーズに外に出られるようになりました。 →引き続き、利用児のニーズや生活課題に合わせた活動内容の提案、柔軟な対応を実施していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	直接的な交流や活動の機会は設けていません。	はい 3人	どちらとも いえない 13人	いいえ 5人	イベントは、季節ごとなど開催されていて、ありがたいです。わからない。 特になし。 1時間の限られた療育の場なので、上記機会は不要だと考えます。 →コロナ禍でもあり現在実施できておりませんが、今後は子どもたちの社会参加の機会としても交流の機会を設けられるように企画を検討していきます。
保護	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	契約時になるべく丁寧に説明を行い同意をいただいています。	はい 21人	どちらとも いえない 人	いいえ 人	書面と共にしてもらっている。 →引き続き契約時に丁寧にお伝えし、随時ご不明点に関してはご説明するよう心がけていきます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	療育後の振り返りや半年に一度の面談にて保護者と共通理解を図っています。 気軽に声をかけて頂けるよう配慮しています。	はい 20人	どちらとも いえない 1人	いいえ 人	発達の課題について共通理解でき、課題達成したことも一緒に喜びあっている。 沢山、アドバイスもいただいています。 →引き続き保護者との共通理解をする機会を設け、ご意見やニーズに沿った支援を実施できるよう努めていきます。
	9 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングの実施は行っていませんが、療育後の振り返り、面談等を通じて子どもへの理解度の向上、対応力の向上を図っています。	はい 12人	どちらとも いえない 7人	いいえ 2人	まだ参加していない →今後、実施が必要な場合はペアレントトレーニング等を実施できるようにしていきます。
	10 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	必要に応じて他のスタッフと情報共有をし、口頭や書面で助言を行っています。	はい 19人	どちらとも いえない 2人	いいえ 人	保育園での活動の悩みを相談したり、日常生活での困りごとなどを相談させてもらうと、その都度専門性の高い適切なアドバイスをもらえて安心する。 →引き続き面談などの機会を通して、ご相談に対し最大限の助言ができるように努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
護者への説明等	11 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	現在は、交流の機会を設けていません。	はい 3人	どちらとも いえ ない 10人	いいえ 8人	特になし。 まだ参加していない。 → 今後は、情勢を鑑みてオンライン等で就学相談会や保護者同士での座談会等を企画していき、交流・連携のきっかけ作りをサポートできるように検討していきます。
	12 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情等の対応についてはスタッフ共々、今後同じ事項が起こらないよう周知すると共に、改善や修正については上層部と相談した上で迅速に対応していきます。	はい 13人	どちらとも いえ ない 7人	いいえ 1人	
	13 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	利用児には触れ合いや代弁、気持ちを汲み取れるよう様子をよく見たり、視覚カードを使う等して意思疎通できるように心がけています。 保護者には伝達漏れがないように、確認カードを使用したり、内容を記載するボードや表を使う等スタッフ間でも伝達事項を共有しています。	はい 19人	どちらとも いえ ない 2人	いいえ 人	
	14 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	ブログ イベント、療育に関わる内容等、定期的にホームページのブログにて掲載し発信しています。	はい 15人	どちらとも いえ ない 6人	いいえ 人	SNS(インスタ)を使った活動内容や情報発信をして頂けると嬉しいです。 → 今後、活動内容や行事などについて皆様にさらにお知らせできる方法を検討していきます。
	15 個人情報に十分注意しているか	個人情報の扱いには充分注意し、個人ファイルの管理や撮影した写真の厳重な保管に徹底しています。	はい 20人	どちらとも いえ ない 1人	いいえ 人	
非常時等の対応	16 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	各マニュアルの項目、各々の緊急時の役割分担などを年に1回必ず職員間で策定・情報共有を行っています。また、必要に応じて緊急時の対応方法等も共に張り出し・声掛けを行っています。	はい 18人	どちらとも いえ ない 3人	いいえ 人	掲示してあったり、訓練の様子を知らせてある。 → 保護者の皆様にご周知頂けるよう、いつでも閲覧できるファイルを作成し、待合室に常時設置致します。
	17 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	定期的な訓練を実施し、必要物品や緊急時の各職員の動き、避難経路等の確認を必ず行っています。また保護者へのお知らせも掲示にて行っています。	はい 15人	どちらとも いえ ない 6人	いいえ 人	
	18 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年に1回安全管理委員会で実施した研修動画・資料を基に事業所内でも研修会を実施しています。	/			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	19 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束に関する研修会を実施しているとともに、子どもへの対応時に身体拘束が起こってしまった場合は、職員同士で報告・情報共有を必ず行い、原因の分析と今後の改善策を検討しています。	/			
	20 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現在療育やイベントにて食事を扱う機会は少ないですが、飲食物を扱う際は、保護者にアレルギーの確認を実施しています。	/			
	21 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	職員間での情報共有、原因の分析、今後の解決策を必ず行うように努めています。	/			
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	保護者に対する満足度調査の結果より、通所を楽しみにしていただいているという意見をたくさん頂いています。	はい 21人	どちらとも いえない 人	いいえ 人	ウトウト昼寝中に起こしてもUTいくよ！というとぱっちり目が覚めて喜んで通っている。 ゲームをしてもUTに行くよーと言うとゲームをすぐにやめてやったーと言いながら家からでる。 楽しみにしています。 →引き続き皆様が楽しみに通所して頂ける環境づくりを行っていきます。
	23 事業所の支援に満足しているか	満足して通所して頂けるように、スタッフ同士で日々必要な事柄に関して話し合いと情報共有を行っています。	はい 20人	どちらとも いえない 1人	いいえ 人	どのスタッフにも、いつもどんなことにも親身に丁寧に対応してもらっている。寄り添ってもらっているのが伝わるので安心して通えるありがたい存在。 満足しています。 いつもありがとうございます。どのスタッフさんも、しっかり子どものことを把握してくれているのでみんなで成長を喜びあえることが嬉しいです。“以前はこんな姿だったけど、久しぶりに関わらせてもらうとこんな成長していて驚きました。”と言ってもらえるのが嬉しいです。今後とも宜しくお願いします。 強いて言うなら療育中の部屋に入らなくてもいいから小窓やミラーガラス等で子供の様子が見れたらうれしいです。 コロナ対策として、教室内の窓(上部にある横滑り出し窓)を常時開けて換気体制の強化をして欲しいです。 どの先生も丁寧に対応していただいていると思います！子供が通所を楽しみにしてくれているうれしいです。 →引き続きご満足頂けるように支援を実施していきます。 換気強化のための設備は早急に対応できるようにしていきます。

放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2023年 3月 1日

保護者等数 45名 回収数 10名 22%

事業所名: リハビリ発達支援ルーム UTキッズ香芝

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	活動内容によって2人の子どもの動線を考えた上で遊具の配置をしています。遊具や大型玩具を移動してスペースを確保できるようにし、快適に過ごせるように物品の整理も常に行なっています。	はい 10人	どちらとも いえ ない 人	いいえ 人	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	専門性を高める為に、ケース会議や主訴に関する勉強会で知識を増やしたり、知識を整理しながら専門性の向上に努めています。配置数は適切で、スタッフもそれぞれの職種の専門性を活かして業務についており、日々の業務や研修会を通して向上を目指しています。	はい 10人	どちらとも いえ ない 人	いいえ 人	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	出入口に手摺を設置していますが、スロープではなく階段になっています。また手洗い場・トイレへ行く場所にも階段があるため、サポートが必要な利用児にはその都度介助や動線の配慮を行っています。	はい 5人	どちらとも いえ ない 5人	いいえ 人	
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	スタッフでの会議時に療育の様子や保護者の聞き取りを基にスタッフ間でも話しながらニーズや課題を客観的に分析し、計画書を作成しています。	はい 10人	どちらとも いえ ない 人	いいえ 人	こども本人の意志もしっかり聞いてくださり感謝しております。 →引き続き子どものニーズや思いを大切に、寄った支援の計画と実施に努めていきます。
	5 活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	定期的にスタッフ同士で話し合い・勉強会を開催し、新たな活動のアイデアを出し合っています。また、ケース会議を通して具体的な活動内容を複数あげ、利用児の様子に合わせて応用していきながら取り組んでいます。新しい活動内容を検討しています。	はい 10人	どちらとも いえ ない 人	いいえ 人	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	直接的な交流や活動の機会は設けていません。	はい 1人	どちらとも いえ ない 4人	いいえ 5人	
7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	契約時になるべく丁寧に説明を行い同意をいただいています。	はい 9人	どちらとも いえ ない 1人	いいえ 人		

保護者への説明等	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	療育後の振り返りや半年に一度の面談にて保護者と共通理解を図っています。 気軽に声をかけて頂けるよう配慮しています。	はい 10人	どちらとも いえない 人	いいえ 人	
	9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングの実施は行っていませんが、療育後の振り返り、面談等を通じて子どもへの理解度の向上、対応力の向上を図っています。	はい 4人	どちらとも いえない 6人	いいえ 人	
	10	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	必要に応じて他のスタッフと情報共有をし、口頭や書面で助言を行っています。	はい 9人	どちらとも いえない 1人	いいえ 人	
	11	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	現在は、交流の機会を設けていません。	はい 2人	どちらとも いえない 2人	いいえ 6人	
	12	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情等の対応についてはスタッフ共々、今後同じ事項が起こらないよう周知すると共に、改善や修正については上層部と相談した上で迅速に対応していきます。	はい 7人	どちらとも いえない 3人	いいえ 人	
	13	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	利用児には触れ合いや代弁、気持ちを汲み取れるよう様子をよく見たり、視覚カードを使う等して意思疎通できるように心がけています。 保護者には伝達漏れがないように、確認カードを使用したり、内容を記載するボードや表を使う等スタッフ間でも伝達事項を共有しています。	はい 10人	どちらとも いえない 人	いいえ 人	
	14	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	ブログ イベント、療育に関わる内容等、定期的にホームページのブログにて掲載し発信しています。	はい 8人	どちらとも いえない 2人	いいえ 人	
	15	個人情報に十分注意しているか	個人情報の扱いには充分注意し、個人ファイルの管理や撮影した写真の厳重な保管に徹底しています。	はい 9人	どちらとも いえない 1人	いいえ 人	

非常時等の対応	16	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	各マニュアルの項目、各々の緊急時の役割分担などを年に1回必ず職員間で策定・情報共有を行っています。また、必要に応じて緊急時の対応方法等も共に張り出し・声掛けを行っています。	はい 9人	どちらとも いえ 1人	いいえ 人	
	17	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	定期的な訓練を実施し、必要物品や緊急時の各職員の動き、避難経路等の確認を必ず行っています。また保護者へのお知らせも掲示にて行っています。	はい 9人	どちらとも いえ 1人	いいえ 人	
	18	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年に1回安全管理委員会で実施した研修動画・資料を基に事業所内でも研修会を実施しています。	/			
	19	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束に関する研修会を実施しているとともに、子どもへの対応時に身体拘束が起こってしまった場合は、職員同士で報告・情報共有を必ず行い、原因の分析と今後の改善策を検討しています。	/			
	20	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現在療育やイベントにて食事を扱う機会は少ないですが、飲食物を扱う際は、保護者にアレルギーの確認を実施しています。	/			
	21	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	職員間での情報共有、原因の分析、今後の解決策を必ず行うように努めています。	/			
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	保護者に対する満足度調査の結果より、通所を楽しみにしていただいているという意見をたくさん頂いています。	はい 10人	どちらとも いえ 人	いいえ 人	
	23	事業所の支援に満足しているか	満足して通所して頂けるように、スタッフ同士で日々必要な事柄に関して話し合いと情報共有を行っています。	はい 10人	どちらとも いえ 人	いいえ 人	すごく楽しみにしています。 →引き続き楽しんで通所して頂けるよう努めていきます。

保育所等訪問支援事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2023年 3月 1日

保護者等数 1名 回収数 1名 100%

事業所名: リハビリ発達支援ルーム UTキッズ香芝

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
体制整備	1	職員の配置数や専門性は適切であるか	児童発達支援管理責任者・訪問員を適切に配置しています。また、作業療法士・保育士の視点から見た意見を出し合い専門性を活かして取り組んでいます。	はい 1人	どちらとも いえ ない 人	いいえ 人	
	2	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画・居宅訪問型児童発達支援計画が作成されているか	訪問先の先生と保護者の聞き取り、利用児の集団生活場面での様子を評価した結果をもとに、主訴や生活課題に沿った計画書を作成しています。	はい 1人	どちらとも いえ ない 人	いいえ 人	
適切な支援の提供	3	保育所等訪問支援計画・居宅訪問型児童発達支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	現在の利用児の姿や、保護者のニーズ、訪問先との合意目標を記載し、利用児の発達段階に合わせた支援内容を考えています。	はい 1人	どちらとも いえ ない 人	いいえ 人	
	4	保育所等訪問支援計画・居宅訪問型児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	月に一回訪問し、利用児の観察と先生とのカンファレンスを交互に行い、状況や成長を訪問先・保護者と共有しながら半年に一回計画書の更新を行い支援しています。	はい 1人	どちらとも いえ ない 人	いいえ 人	
	5	支援内容が固定化しないよう工夫されているか	訪問先の先生との話し合いや利用児の発達状況の変化に合わせて、その都度支援内容を見直しながら実施しています。	はい 1人	どちらとも いえ ない 人	いいえ 人	
	6	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	訪問支援を開始する前に資料を使用して説明を行い、同意を得て訪問の実施をしています。	はい 1人	どちらとも いえ ない 人	いいえ 人	
	7	保育所等訪問支援計画・居宅訪問型児童発達支援計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	保護者・教員ともに計画を示しながら支援内容の説明の機会を設け、両者が納得・共通理解できるよう努めています。	はい 1人	どちらとも いえ ない 人	いいえ 人	
	8	保護者に対して家族支援が行われているか	面談にてその都度お話をお伺いし、必要に応じて家庭での活動・介入方法・環境調整等の提案を行っています。	はい 1人	どちらとも いえ ない 人	いいえ 人	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明等	9	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	訪問報告書や利用児のカンファレンス資料を基にお伝えしたり、療育終了後の振り返り時に状況を共有しています。	はい 1人	どちらとも いえない 人	いいえ 人	
	10	定期的に保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか	毎回の訪問報告時や保護者との面談時に話し合う時間を設け、悩みや取り組みを聞いたり助言を行っています。	はい 1人	どちらとも いえない 人	いいえ 人	
	11	保護者会の活動の支援や保護者懇談会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	現在は実施していません。今後は必要性に応じて開催・連携の検討を行っていきます。	はい 1人	どちらとも いえない 人	いいえ 人	
	12	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	契約時に重要事項説明書を用いて苦情窓口の説明を行っています。ご意見やご相談、ご不明な点等があった場合は、その都度迅速な対応を努めています。	はい 1人	どちらとも いえない 人	いいえ 人	
	13	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	利用児には触れ合いや代弁、気持ちを汲み取れるよう様子をよく見たり、視覚カードを使う等して意思疎通できるように心がけています。保護者には伝達漏れがないように、確認カードを使用したり、内容を記載するボードや表を使う等スタッフ間でも伝達事項を共有しています。	はい 1人	どちらとも いえない 人	いいえ 人	
	14	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	ホームページについては定期的にUTキッズ全体で情報を更新しながら発信させていただいています。	はい 1人	どちらとも いえない 人	いいえ 人	
	15	個人情報に十分注意しているか	個人情報の扱いには充分注意し、個人ファイルの管理や撮影した写真の厳重な保管に徹底しています。	はい 1人	どちらとも いえない 人	いいえ 人	
満足度	16	子どもは支援を楽しみにしているか	訪問に訪れた際は、利用児が安心して過ごせるよう訪問先の先生方と協力し、間接的支援に努めています。また、必要に応じて利用児への直接支援も行っています。	はい 1人	どちらとも いえない 人	いいえ 人	
	17	事業所の支援に満足しているか	利用児・保護者に満足して頂ける支援になるよう、訪問前にスタッフ間で打ち合わせを重ね準備を整えています。また他スタッフへの情報共有も実施するよう心がけています。	はい 1人	どちらとも いえない 人	いいえ 人	